

避難計画では住民の安全を守れないー再稼働を止めよう!

3・2 講演・討論集会

講演

❖ 上岡直見さん(「原発避難計画の検証」著者)

交通工学から避難計画を検証。住民の安全は保障できない

❖ 菅野みずえさん(浪江町)

3.11~3.15 全町避難の実態



日時: 3月2日(日) 13:10 開場 13:30~16:50

場所: 大阪社会福祉会館 5階

(地下鉄「谷町六丁目」下車、④番出口、谷町筋を南に250m)

参加費: 一般800円(大学生以下400円) [カンパ歓迎]

主催: グリーン・アクション/美浜の会/おおい原発止めよう裁判の会 [協力団体募集中]

関西広域連合や自治体は、若狭の原発で事故が起こったときの避難計画を作成しています。しかし福島原発事故の避難の実態は踏まえていません。約25万人にも及び30km圏内の避難計画は、地震や津波との複合災害も考慮せず、移動手段であるバスの確保、スクリーニングの方法、安全な水の配布方法等々、何も具体的に決まっています。最初に避難することになっている要援護者(高齢者や病人、乳幼児、妊婦など)の避難計画にいたっては全く何も決まっています。

それにもかかわらず、3月末までに避難計画を策定し、再稼働の地ならしにしようとしています。

そこで今回は、交通工学の立場から、全国の原発の避難計画を丹念に検証された上岡直見さんをお迎えして、じっくりとお話を聞きます。上岡さんは1月末に出版された「原発避難計画の検証」で、このままでは住民の安全は保障できないと警鐘をならしています。著書については、各新聞でも大きく紹介されています。

さらに、菅野みずえさんには、3月11~15日の全町避難の実態を話していただきます。菅野さんは、勤務先の大熊町で地震に遭い、その日は自宅の浪江町に戻りました。翌日には、原発から27kmの自宅周辺は避難者の受け入れ先となりましたが、さらに線量の高いこの地区も避難しなければならなかった等々、ご自身の経験を踏まえて、避難の実態について語っていただきます。



お二人の話から多くを学び、関西各地で進めている自治体への申し入れ等々の活動を交流し、再稼働を止めるために今後の活動について討論しましょう。

小浜講演会 原発事故で本当に避難できるのだろうか?

日時: 3月1日(土) 14:00~17:00

場所: 小浜市文化会館 4F 大会議室 講師: 上岡直見さん

上岡直見さんプロフィール

1973年早稲田大学大学院理工学研究科修士

プラントエンジニアリング会社勤務、

化学プラントの安全性評価等に從事

2000年より環境市民団体に所属、2012年より環境経済研究所代表

交通権学会副会長、法政大学非常勤講師(環境政策)

連絡先: グリーン・アクション info@greenaction-japan.org

京都市左京区田中関田町22-75-103 TEL:075-701-7223 FAX:075-702-1952

美浜の会(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会) mihama@jca.apc.org

大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL:06-6367-6580 FAX:06-6367-6581

2014.2.15

2011. 3. 11 からの避難経過から、 避難路確保の大変さを思ってください

浪江町・菅野みずえのお話の一部を紹介します。

3月2日の講演・討論集会でじっくり聞いてください。

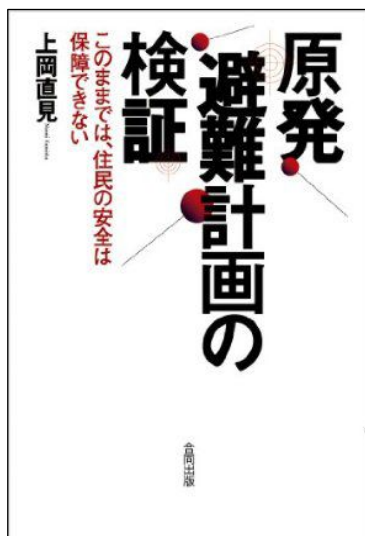
地震の起きた日は大熊町、原発から数キロのところでも働いていました。午後から夜中までの間に数回の地震があったのですが、何れも震度6～7に近いものでした。家からいつもは45分の通勤距離を、この日家まで3時間半かかりました。人とは反対方向の田舎道でこれだけかかっています。

あの日いつもの道を帰ろうとしてしばらく行ったところで、すれ違う車はみなわたしに向かってバツ印を出していました。通れないと言う意味は解ってもUターンできる場所は無く、後続車にせかされるように先へと進みました。2キロも進まないうちに警察官に止められ、此処から先へは通れない・・・パニック映画の中に居るような、自分がそこに居るのが信じられない気持ちでした。・・・

12日に浪江町は、わたし達の一番北の津島地区へ避難命令をだし、わずか町役場から20キロが大渋滞で人口1万2千人の人の8割がこの道を通ったことで10時間から12時間かかっています。1本しかまっすぐ通れる道は無いからです。・・・

15日8時に、10時全町避難の指令が出ました。・・・

家を出たのは雨が降り始めた15時過ぎでした。雨の中郡山で3時間並んでスクリーニングを受け、高い放射線量で上着を没収され、髪を洗えと言われても断水で洗うところは無く・・・。



合同出版 1890円 2014年1月31日発行

「原発避難計画の検証

このままでは、住民の安全は保障できない」

上岡 直見 著

目次

はじめに

第Ⅰ部 避難計画の検証

第1章 福島での避難の実態

第2章 防災計画と避難の考え方

第3章 避難に関する問題点

第4章 交通工学から避難を考える

第5章 これから始まる「最悪」シナリオ

第Ⅱ部 各原発の避難の分析

チェックリスト あなたの町の避難チェック

あとがき